



広島市食検だより

2019年12月 第59号



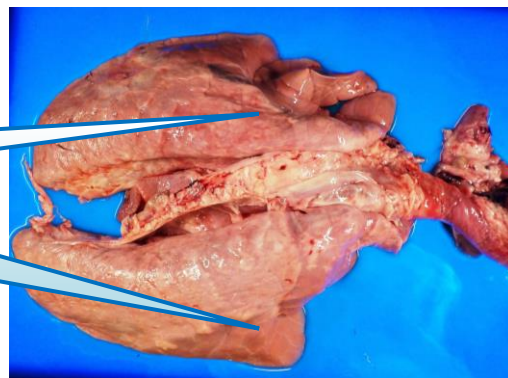
ブタの肺で多い病気について

と畜検査の流れについては、当たよりの第13号「密着！と畜検査の一日」でお伝えした通りですが、今回は内臓検査（肺）でよく見かける病気について説明します。牛では消化器系（胃や腸）に病変が多いのですが、豚では肺に病気が多くみられます。今回は豚の流行性肺炎とヘモフィルス性胸膜肺炎について説明します。

★流行性肺炎

この病気はほとんどの豚に見られます。原因は細菌の一種であるマイコプラズマの感染で起こります。

境目が明瞭で淡い色
左右対称になるのが特徴

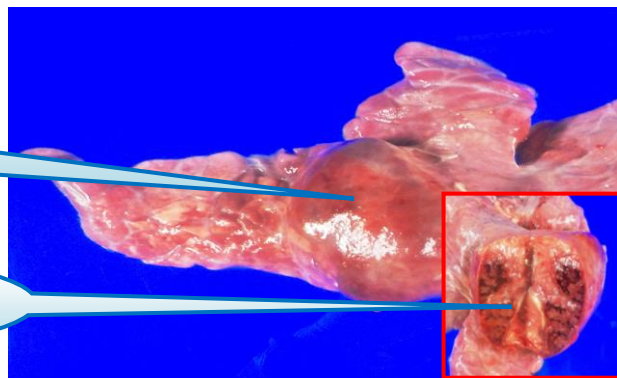


★豚胸膜肺炎

細菌の一種であるアクチノバチルス^{リウキ}の感染が原因で発生します

ドーム状に著しく隆起する

断面はモザイク状に著しく出血



これらの病気が肺にあったときは、肺全体にあれば肺の全部を、一部分にあれば肺の一部を切除し、廃棄後焼却されます。従ってこれら病気の肺が食用になることはありません。